

群馬パース大学 看護実践教育センター
認定看護師教育課程（摂食嚥下障害看護）
2025 年度受講者選抜試験

【 専 門 科 目 】

※ 注 意 事 項

1. 指示があるまで開かないこと。
2. 受験番号を必ず問題用紙表紙上部の欄に記入すること。
3. マークシートには「氏名」を記入し、「番号」に受験番号を記入・マークすること。正しく記入・マークされていない場合は採点できないことがあるので注意すること。氏名・番号・解答記入欄以外の欄には記入しないこと。
4. 解答は、マークシートの解答記入欄にマークすること。解答方法は、選択肢のうち質問に最も適した選択肢を 1 つ解答記入欄にマークすること。

例えば、1 と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号 1 の解答記入欄③にマークすること。

(例)

解答 番号	解 答 記 入 欄									
1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

5. 試験中に問題用紙の印刷不鮮明，ページの落丁・乱丁及びマークシートの汚れ等に気づいた場合は，手を挙げて監督者に知らせること。
6. 問題用紙の余白等は適宜使用してよいが，どのページも切り離さないこと。
7. 試験終了後，問題用紙・マークシートは回収する。

以上

問 1 通常，生後最も早く萌出する歯はどれか。

1

- ① 上顎乳中切歯
- ② 下顎乳中切歯
- ③ 上顎第 1 乳臼歯
- ④ 下顎第 1 乳臼歯

問 2 歯がすべて生えそろった場合に関して誤っているのはどれか。

2

- ① 永久歯は 32 本である。
- ② 乳歯は 20 本である。
- ③ 小臼歯は上下左右 2 本ずつで合計 8 本である。
- ④ 大臼歯は上下左右 2 本ずつで合計 8 本である。

問 3 舌の清潔・不潔に影響が大きい構造はどれか。

3

- ① 糸状乳頭
- ② 茸状乳頭
- ③ 葉状乳頭
- ④ 有郭乳頭

問 4 舌咽神経に支配されるのはどれか。

4

- ① 耳下腺
- ② 顎下腺
- ③ 舌下腺
- ④ 口蓋腺

問 5 成人の通常の唾液分泌量はどれか。

5

- ① 0.5～1L
- ② 1～1.5L
- ③ 1.5～2L
- ④ 2～2.5L

問 6 咀嚼筋に関して誤っているのはどれか。

6

- ① すべて三叉神経の枝に支配されている。
- ② すべて下顎骨に停止している。
- ③ 咬筋，側頭筋，外側翼突筋，内側翼突筋の 4 つからなる。
- ④ 下顎骨を上下に開閉する。

問 7 表情筋に関して誤っているのはどれか。

7

- ① 皮膚に付き皮膚を動かし表情を作る。
- ② 基本的に顔面神経支配である。
- ③ 麻痺すると咀嚼ができない。
- ④ 麻痺すると吸啜ができない。

問 8 口腔から直接観察できるのはどれか。

8

- ① 咽頭扁桃
- ② 口蓋扁桃
- ③ 耳管扁桃
- ④ 舌扁桃

問 9 咽頭に関して誤っているのはどれか。

9

- ① 鼻腔・口腔・喉頭の後ろにある。
- ② 食物路と呼吸路が交差している。
- ③ 筋層は横紋筋で構成されている。
- ④ 上皮はすべて重層扁平上皮である。

問 10 食道に関して正しいのはどれか。

10

- ① 機能的に 2 か所の狭窄部位がある。
- ② 長さ 50cm ほどである。
- ③ 筋層はすべて平滑筋からなる。
- ④ 粘膜は重層扁平上皮で覆われている。

問 11 令和 4 年（2022 年）の人口動態統計における死因別に見た死亡率の順位として誤っているのはどれか。

11

- ① 4 位 — 脳血管疾患
- ② 5 位 — 肺炎
- ③ 6 位 — 誤嚥性肺炎
- ④ 7 位 — 老衰

問 12 介護保険制度の説明で誤っているのはどれか。

12

- ① 40 歳以上 65 歳未満の人は第 1 号被保険者に該当する。
- ② 被保険者の自己負担割合は最大 3 割となる。
- ③ 保険者として市区町村の広域連合が認められている。
- ④ 介護給付は法定給付となる。

問 13 看護理論家と著書の組み合わせで誤っているのはどれか。

13

- ① フローレンス・ナイチンゲール — 看護覚え書
- ② アーネスティン・ウィーデンバック — 臨床看護の本質
- ③ ジョイス・トラベルビー — 患者中心の看護
- ④ ヒルデガード・E・ペプロウ — 人間関係の看護論

問 14 NANDA-I 看護診断で誤っているのはどれか。

14

- ① ハイケア型看護診断
- ② ヘルスプロモーション型看護診断
- ③ リスク型看護診断
- ④ 問題焦点型看護診断

問 15 成人の口腔・鼻腔吸引で誤っているのはどれか。

15

- ① 口腔吸引の挿入長は 10～13 cm である。
- ② 鼻腔吸引圧は 20kPa（150mmHg）以内に設定する。
- ③ 原則的には吸引圧をかけずに挿入する。
- ④ 体位ドレナージで痰や残渣物を誘導して吸引する。

問 16 栄養評価の方法で誤っているのはどれか。

16

- ① MNA (Mini Nutritional Assessment)
- ② MUST (Malnutrition Universal Screening Tool)
- ③ DSS (Dysphagia Severity Scale)
- ④ GLIM 分類 (Global Leadership Initiative on Malnutrition)

問 17 細胞外液の電解質濃度と pH で誤っているのはどれか。

17

- ① Na^+ — 235～245Eq/L
- ② K^+ — 3.5～4.5mEq/L
- ③ Cl^- — 97～106mEq/L
- ④ pH — 7.35～7.45

問 18 高齢者の特徴で誤っているのはどれか。

18

- ① 予備能力の低下
- ② アドボカシーの固辞
- ③ 神経伝導速度の低下
- ④ 細胞内液の減少

問 19 サルコペニアの説明で誤っているのはどれか。

19

- ① 骨格筋量の減少を示す。
- ② 狭義のサルコペニアは、加齢による筋力低下を指す。
- ③ 反復唾液嚥下テスト (RSST) が判定項目に含まれる。
- ④ 歩行速度と握力が判定項目に含まれる。

問 20 日本摂食嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類 2021 で正しいのはどれか。

20

- ① 嚥下訓練食品 Oj, Ot は若干の食塊保持と送り込み能力を必要とする。
- ② 食事の分類は 8 段階である。
- ③ ころみの分類は 4 段階である。
- ④ 食事の分類に応じた必要な咀嚼力が明示されている。

問 21 口腔の評価で誤っているのはどれか。

21

- ① OAG（Oral Assessment Guide）
- ② FOIS（Function Oral Intake Scale）
- ③ OHAT（Oral Health Assessment Tool）
- ④ ROAG（Revised Oral Assessment Guide）

問 22 間接訓練と目的の組み合わせで誤っているのはどれか。

22

- ① 開口訓練 — 舌骨の挙上
- ② アイスマッサージ — 嚥下反射の持続的な改善
- ③ シャキア法 — 喉頭挙上運動の改善
- ④ ブローイング訓練 — 鼻咽腔閉鎖不全の改善

問 23 直接訓練で正しいのはどれか。

23

- ① 交互嚥下
- ② 嚥下体操
- ③ 舌保持嚥下訓練
- ④ 口腔ケア

問 24 嚥下反射の改善効果が期待できない薬剤はどれか。

24

- ① シロスタゾール
- ② L-DOPA
- ③ 葉酸
- ④ スルピリド

問 25 神経障害と症状の組み合わせで誤っているのはどれか。

25

- ① 末梢神経障害 — 筋萎縮
- ② 末梢神経障害 — 弛緩性麻痺
- ③ 中枢神経障害 — 深部腱反射亢進
- ④ 中枢神経障害 — 筋線維束性攣縮

問 26 成人における経腸栄養法の説明で正しいのはどれか。

26

- ① 液体栄養剤を注入する場合、経鼻胃管チューブのサイズは 12Fr 以下が望ましい。
- ② 経鼻胃管チューブを挿入する際、患者に「ウー」や「オー」と発声してもらうと良い。
- ③ 胃食道逆流防止が目的の場合、半固形状流動食の粘度は 5,000mPa・s 以上が望ましい。
- ④ 胃食道逆流防止が目的の場合、経鼻胃管チューブはトライツ靱帯を越える位置に留置する。

問 27 摂食嚥下の 5 期モデルと障害の組み合わせで誤っているのはどれか。

27

- ① 先行期 — 姿勢保持能力低下
- ② 準備期 — 口唇閉鎖不全
- ③ 口腔期 — 鼻咽腔閉鎖不全
- ④ 食道期 — 食道入口部開大不全

問 28 高齢者の摂食嚥下機能の特徴で誤っているのはどれか。

28

- ① 嗅覚閾値が上昇する。
- ② 安静時唾液の分泌量が低下する。
- ③ 嚥下反射惹起の閾値が上昇する。
- ④ 嚥下時無呼吸時間が短縮する。

問 29 反復唾液嚥下テスト（RSST）の説明で正しいのはどれか。

29

- ① リクライニング 30 度がテスト実施の基本姿勢である。
- ② 口腔乾燥があっても、口腔を加湿せず実施する。
- ③ パーキンソン病患者の嚥下障害の検出には不向きである。
- ④ 検者の指で甲状軟骨の動きを触知した場合に 1 回とカウントする。

問 30 改訂水飲みテスト（MWST）の説明で誤っているのはどれか。

30

- ① 冷水 3ml を舌背に注ぐ。
- ② 嚥下反射誘発の有無，むせや呼吸の変化を評価する。
- ③ 評価点が 4 点以上なら，最多 2 施行を追加する。
- ④ 複数回のテスト実施後は，最低点を評価する。

問 31 栄養サポートチーム加算の説明で正しいのはどれか。

31

- ① 週 1 回 150 点が算定できる。
- ② 静脈栄養法を実施している患者は算定の対象外となる。
- ③ 経腸栄養実施患者に対しては、経口摂取への移行を目的とすることが算定条件となる。
- ④ 対象患者に対する栄養カンファレンスを月 1 回開催する必要がある。

問 32 脳の機能局在で誤っているのはどれか。

32

- ① 前頭葉 － 感情のコントロール
- ② 側頭葉 － 体性感覚の最高中枢
- ③ 頭頂葉 － 空間や時間の認知
- ④ 視床下部 － 摂食中枢

問 33 脳神経の障害の説明で正しいのはどれか。

33

- ① 顔面神経の一側性核上性病変で、病変部位と反対側の口角下垂を生じる。
- ② 三叉神経の一側性核上性病変で、咀嚼筋の運動障害を生じる。
- ③ 皮質脊髄路の両側性核上性病変で、偽性球麻痺を生じる。
- ④ ワレンベルグ症候群で、痛覚と温度覚の感覚解離を生じる。

問 34 遂行機能障害が認められる人への食支援の工夫で正しいのはどれか。

34

- ① 器の数を増やして小分けにする。
- ② 目安の時間で食事摂取を終了する。
- ③ 毎回同一の食事環境とする。
- ④ 食事中に気が逸れてしまった時は、食事に集中するよう声掛けする。

問 35 パーキンソン病の説明で誤っているのはどれか。

35

- ① 不顕性誤嚥を生じる。
- ② 筋緊張低下・運動亢進症候群を生じる。
- ③ 起立性低血圧や食事性低血圧を生じる。
- ④ 抗パーキンソン病薬の自己中断により、悪性症候群を生じる。

問 36 前頭側頭型認知症の特徴的な症状で誤っているのはどれか。

36

- ① 口唇傾向
- ② 嗜好の変化
- ③ ペーシング障害
- ④ 衛生面の過敏

問 37 頭頸部癌リハビリテーションの組み合わせで誤っているのはどれか。

37

- ① 口腔癌 － 皮弁の可動域拡大訓練
- ② 中咽頭癌 － ブローイング訓練
- ③ 喉頭癌 － 息こらえ嚥下
- ④ 下咽頭癌 － 横向き嚥下

問 38 以下の抗精神薬のうち、パーキンソン症状を最も起こしにくい薬剤はどれか。

38

- ① ハロペリドール（セレネース）
- ② クロルプロマジン（ウィンタミン）
- ③ ペロスピロン（ルーラン）
- ④ レボメプロマジン（レボトミン）

問 39 小児の摂食嚥下機能の発達過程と動きの特徴で正しいのはどれか。

39

- ① 経口摂取準備期 － 哺乳反射，指しゃぶり，舌突出
- ② 捕食機能獲得期 － 角の引き（左右対称），舌の左右運動
- ③ 嚥下機能獲得期 － 顎・口唇の随意的閉鎖，上唇での取り込み
- ④ 押しつぶし機能獲得期 － 口角の引き（左右非対称），顎と口唇の協調運動

問 40 小児の疾患と障害で誤っているのはどれか。

40

- ① 脳性麻痺は受胎から生後 4 週間までに生じた脳の非進行性病変である。
- ② 重症心身障害児を定義する場合に大島の分類では区分 1～4 に該当する。
- ③ ダウン症はジストロフィン遺伝子の異常で発症する。
- ④ フロッピーインファントは筋緊張の低下を認める乳児の総称である。